

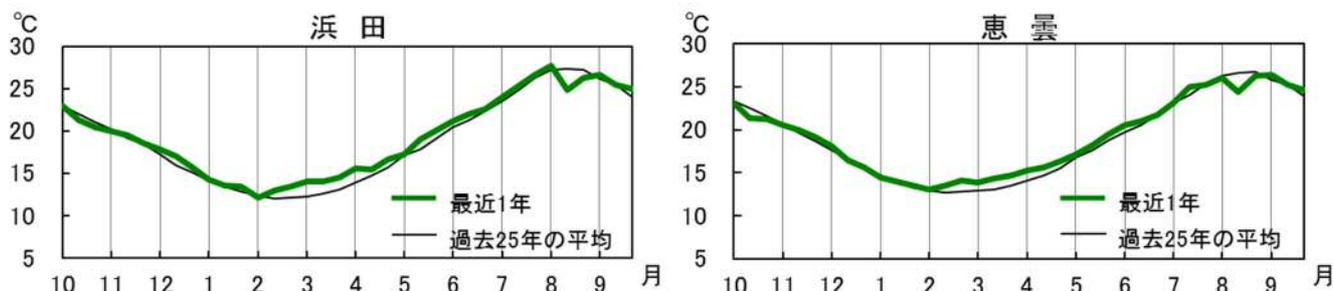


(本誌はホームページでもご覧いただけます。)

<https://www.pref.shimane.lg.jp/suigi/>

(TEL 0855-22-1720)

《9月の海況》



9月	浜田			恵曇		
	評価	平均	平年差	評価	平均	平年差
上旬	平年並み	25.7°C	+0.5°C	平年並み	25.4°C	+0.4°C
中旬	平年並み			平年並み		
下旬	やや高め			平年並み		



《9月の漁況》

【中型まき網漁業】

浜田地区ではマアジ、サバ類主体の漁況でした。魚種別の漁獲量の動向は、マアジは平年の3割、サバ類は平年の5割でした。隠岐地区ではマイワシ、カタクチイワシ主体の漁況で、1統1航海当りの漁獲量は56.8トンで平年を上回りました。魚種別の漁獲量の動向は、マイワシは3,565トンで平年の1.6倍、カタクチイワシは2,755トンで平年の2.0倍でした。

【イカ釣漁業】

浜田地区(属地5トン以上)ではケンサキイカ(全体の96%)が主体の漁況で、1隻1航海当りの漁獲量は40.9kgで平年並みでした。西郷地区(属人5トン以上)ではスルメイカ(全体の94%)が主体の漁況で、1隻1航海当りの漁獲量は111.0kgで平年を下回りました。

【沖合底びき網漁業】

浜田地区ではアカムツ、キダイ、マトウダイを主体に、1統1航海当りの漁獲量は12.2トンで平年並みでした。魚種別の漁獲量は、アカムツは平年の1.7倍、キダイは平年の1.0倍、マトウダイは平年の1.9倍でした。その他、イボダイは平年の2.8倍、ヤナギムシガレイは平年の2.7倍、アンコウ類は平年の2.0倍、マダイは平年の1.2倍、アナゴ・ハモ類は平年の1.0倍であった一方、ムシガレイおよびマアジは平年の6割、ケンサキイカは平年の3割の水揚げでした。

【小型底びき網漁業】

大田地区(和江・久手)ではマトウダイ、アナゴ・ハモ類、アカムツ主体の漁況で、総漁獲量は313トンでした。1統1航海当りの漁獲量は867kgで平年を上回りました。魚種別の漁獲量の動向は、マトウダイは平年の2.3倍、アナゴ・ハモ類は平年の1.0倍、アカムツは平年の9割でした。その他、ソウハチは平年の1.5倍と好調でしたが、ニギスは平年の1.0倍、アンコウ類は平年の8割、キダイおよびスルメイカは平年の7割、ケンサキイカは平年の1割の水揚げでした。

【定置網漁業】

出雲地区ではサワラ類主体の漁況で、1経営体当りの漁獲量は27.6トンで平年並みでした。魚種別の漁獲量の動向は、サワラ類は平年の8割でした。石見地区ではサバ類、サワラ類、マアジ主体の漁況で、1経営体当りの漁獲量は21.2トンで平年並みでした。魚種別の漁獲量の動向は、サバ類は平年の7割、サワラ類は平年の5割、マアジは平年の7割でした。隠岐地区ではマイワシ、イサキ、ウルメイワシ主体の漁況で、1経営体当りの漁獲量は10.1トンで平年を下回りました。魚種別の漁獲量の動向は、マイワシは平年の6割、イサキは平年の4.3倍、ウルメイワシは平年の3.1倍でした。

【釣・縄】

出雲地区ではサワラ類主体の漁況で、1隻1航海当りの漁獲量は15.2kgで平年を下回りました。魚種別の漁獲量の動向は、サワラ類は平年の1.4倍でした。石見地区ではヒラマサ主体の漁況で、1隻1航海当りの漁獲量は18.3kgで平年並みでした。魚種別の漁獲量の動向は、ヒラマサは平年の1.1倍でした。隠岐地区では、カサゴ・メバル類主体の漁況で、1隻1航海当りの漁獲量は20.0kgで平年並みでした。魚種別の漁獲量の動向は、カサゴ・メバル類は平年の2.4倍でした。

【令和3年9月の漁獲統計】

漁業種類	地区	主要魚種	総漁獲量			CPUE(1隻(統)1航海当り漁獲量)			様 漁 模
			漁獲量	前年比 %	平年比 %	漁獲量	前年比 %	平年比 %	
中型まき網	浜田	マアジ、サバ類	—	—	—	—	—	—	—
	隠岐	マイワシ、カタクチイワシ	8,173トン	160%	138%	56.8トン	107%	111%	◎
イカ釣り (5トン以上)	浜田	ケンサキイカ	2.9トン	552%	7%	40.9kg	210%	25%	○
	西郷	スルメイカ	0.8トン	1439%	8%	111.0kg	411%	141%	○
沖合 底びき網	浜田	アカムツ、キダイ、マトウダイ	245トン	100%	91%	12.2トン	111%	99%	○
小型 底びき網	大田	マトウダイ、アナゴ・ハモ類、アカムツ	313トン	114%	88%	867kg	130%	119%	◎
定置網 (大型)	出雲	サワラ類	358トン	88%	97%	27.6トン	88%	97%	○
	石見	サバ類、サワラ類、マアジ	63.6トン	106%	69%	21.2トン	106%	88%	○
	隠岐	マイワシ、イサキ、ウルメイワシ	30.4トン	100%	76%	10.1トン	100%	72%	▲
釣り・縄	出雲	サワラ類	17.5トン	180%	57%	15.2kg	80%	71%	▲
	石見	ヒラマサ	23.0トン	239%	73%	18.3kg	115%	90%	○
	隠岐	カサゴ・メバル類	14.7トン	215%	57%	20.0kg	126%	88%	○

※ 平年比：過去5年（沖底のみ10年）の平均値との比較 漁模様（CPUE）：◎が平年以上、○が平年並み、▲が平年以下

※ 大型定置網漁業のCPUEは1経営体当り漁獲量を示す。

- ※ 水温の評価「はなはだ○○」：約20年に1回の出現確率である±2℃程度の高さ
「かなり○○」：約10年に1回の出現確率である±1.5℃程度の高さ
「やや○○」：約4年に1回の出現確率である±1℃程度の高さ
「平年並み」：約2年に1回の出現確率である±0.5℃程度の高さ